

# 改めて考えるゼロレーティングと ネット中立性

---

# 自己紹介

---

- 名前：九龍真乙（PN）
- 所属：自宅ラック勉強会
- お仕事：Sierでのテクニカルサポート（AWS,Zabbix,ネットワーク,サーバーインフラ）
- 好きなプロトコル:NTP,SNMP
- Twitter:@qryuu
- Facebook
  - <https://www.facebook.com/qryuu>
- github
  - <https://github.com/qryuu>
- cookpad
  - <https://cookpad.com/kitchen/4142562>



# 今回の趣旨

---

- ゼロレーティングの実施やアメリカでのネット中立性廃止が行われている現在
- 改めて、インターネットの理想、ビジネス、権利などについて考える機会としたいとおもいます。
  - (法律で書いてあるからという思考停止はしない、法律について考える場合はその保護法益、趣旨をかんがえます)

# ゼロレーティングについて（私の考え）

---

- 理想論：

- 無限の帯域、無限のコスト、があるのであればインターネットは制限されないことが望ましい

- 現実：

- 有限の帯域の中でユーザ間の公平性や採算性のためにゼロレーティングやネット中立性廃止はやむを得ない事だと思われる。（特定大量通信者など）
- （そもそもゼロレーティング以前に、自社ポータルへのアクセスはパケット無料とかMNOがやってましたよね）

# ゼロレーティングについて（私の考え）

---

- 懸念点

- サービスプロバイダにとっての参入障壁とならないか
- 自由・奇抜・新規性のあるネットサービスの芽を摘むことになってしまわないか。
- 今はまだ生まれていない「次のメルカリ」や「次のLINE」のようなサービスの土壌としてのインターネット

- 人類の進化、文明の進化、文化の進化を阻害してはいけない。

## 議論したい

---

- 今は存在しないような新たなサービスが立ち上がる時
  - サービス自身がMVNOとなって自社ゼロレーティングを設定すべきか
  - 既存のネットワークオペレーターとの協業を検討すべきか

## 議論のために

---

- JANOG38でゼロレーティングを扱った岡田さんに、振り返りをおこなっていただきます。
- 実際にゼロレーティングを行っているビッグロブ黒川さんからMVNOの視点から技術的、ビジネス的なゼロレーティングについてお話いただきます。